

エゼキエル 44:23 彼らはわが民に、聖と俗との区別を
教え、汚れたものと、清いものとの区別を示さなければ
ならない。

聖なるものと俗なるもの

サムエル下 6:1 ダビデは再びイスラエルのえり抜きの者三万人を
ことごとく集めた。

6:2 そしてダビデは立って、自分と共にいるすべての民と共にバアレ・ユダへ行って、神の箱をそこからかき上ろうとした。この箱はケルビムの上に座しておられる万軍の主の名をもって呼ばれている。

6:3 彼らは神の箱を新しい車に載せて、山の上にあるアビナダブの家から運び出した。

6:4 アビナダブの子たち、ウザとアヒオとが神の箱を載せた新しい車を指揮し、ウザは神の箱のかたわらに沿い、アヒオは箱の前に進んだ。

6:5 ダビデとイスラエルの全家は琴と立琴と手鼓と鈴とシンバルとをもって歌をうたい、力をきわめて、主の前に踊った。

6:6 彼らがナコンの打ち場にきた時、ウザは神の箱に手を伸べて、それを押えた。牛がつまずいたからである。

6:7 すると主はウザに向かって怒りを発し、彼が手を箱に伸べたので、彼をその場で撃たれた。彼は神の箱のかたわらで死んだ。

6:8 主がウザを撃たれたので、ダビデは怒った。その所は今日までペレヅ・ウザと呼ばれている

民数記 4:15,19,20

4:15 宿営の進むとき、アロンとその子たちとが、聖所と聖所のすべての器をおおうことを終ったならば、その後コハテの子たちは、それを運ぶために、はいつてこなければならぬ。しかし、彼らは聖なる物に触れてはならぬ。触れると死ぬであらう。会見の幕屋

のうちの、これらの物は、コハテの子たちが運ぶものである。

4:19 彼らがいと聖なる物に近づく時、死なぬで、命を保つために、このようにしなさい、すなわち、アロンとその子たちが、まず、はいり、彼らをおのおのその働きにつかせ、そのになうべきものを取らせなさい。

4:20 しかし、彼らは、はいつて、ひと目でも聖なる物を見てはならぬ。見るならば死ぬであらう」

人類のあけぼの上446

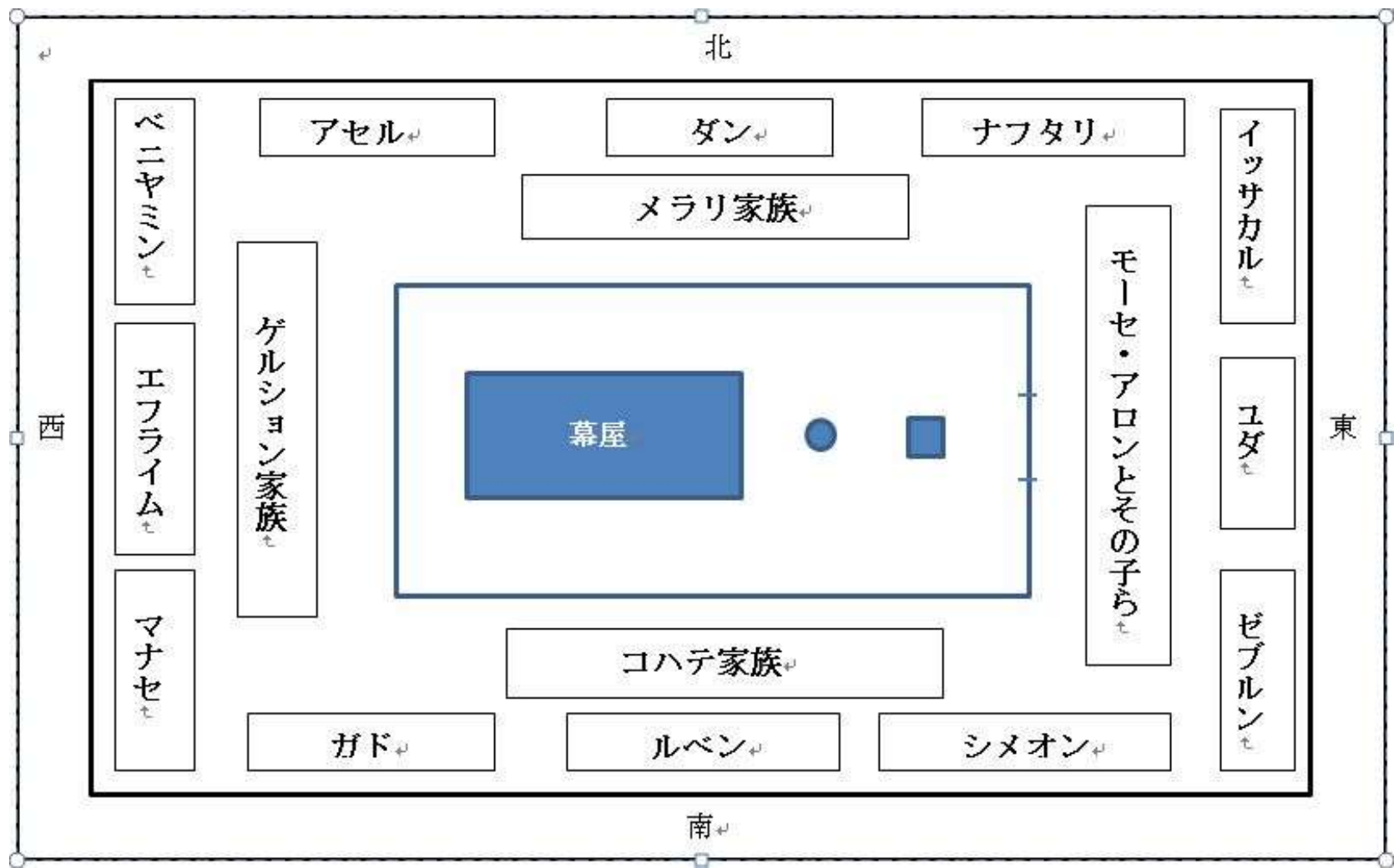
レビ人の義務—幕屋とそれに付属する物は、宿営中も旅行中もすべてレビ人にゆだねられた。幕屋が進むときは、レビ人が幕屋を取りくずさなければならなかった。停止する場所に到着すると、彼らが幕屋を組み立てた。他の部族の人は近寄ると殺されるので、だれも近づくことはできなかった。レビ人は、レビの三人のむすこの子孫に従って、三組に分けられて、それぞれに特別の場所と仕事を与えられた。

幕屋の前が一番近いところに、モーセとアロンの天幕があった。南のほうに、契約の箱その他の器物の管理をするコハテ人が宿営した。北のほうには、幕屋の柱や横木や座の管理をするメラリ人、幕屋の後方には、天幕のおおいやあげばりをゆだねられたゲルシヨン人の場所があった。

各部族の位置もまた定められていた。各部族は、主が命ぜられたとおりに、おのおのその部族の旗のもとに前進し、宿営しなければならなかった。

(人類のあげぼの上446)

宿営の配置図



《レビ部族の務め》

1. 祭司に仕える (民数記3:5-9)
2. 幕屋に属するもの、建築の係り (民数記3:21-33)
3. 幕屋の奉仕 (民数記3:35-37、18:2,3)
4. 契約の箱をかつぐ (申命記10:8、歴代上15:2)
5. 主の名をもって民を祝福する (申命記10:8)
6. 律法を民に教える (申命記33:10、歴代下17:7-9)

- 7.幕屋の門を守る (歴代上9:17-27)
- 8.什一を集め、保管する (歴代上9:26-29)
- 9.犠牲の供え物の準備 (歴代上23:28,29)
- 10.幕屋での歌の奉仕 (歴代上25:1-7)
- 11.幕屋建設の監督 (エズラ3:8,9)
- 12.民を裁き、助ける (歴代上23:2-4)

《レビ部族の務め》

民数記 7:6 そこでモーセはその車と雄牛を受け取って、
これをレビびとに渡した。

7:7 すなわち、ゲルシヨンの子たちには、その務にした
がって、車二両と雄牛四頭を渡し、

7:8 メラリの子たちには、その務にしたがって車四両と
雄牛八頭を渡し、祭司アロンの子イタマルに、これを監
督させた。

7:9 しかし、コハテの子たちには、何をも渡さなかった。
彼らの務は聖なる物を、肩にになって運ぶことであつた
からである。

《行進時のレビ人の務め(民3,4章)》

・ゲルション氏族(長男)

1. 幕屋の幕、覆いひもの管理、車で運搬
2. 二車、雄牛四頭

・コハテ氏族(次男)

1. 聖所の全ての物
2. 肩で担ぐ

・メラリ氏族(三男)

1. 聖所の枠、柱、全ての器、車で運搬
2. 四車、雄牛八頭

人類のあけぼの下401

「ウザは僭越というさらに大きな罪を犯した。彼は神の律法を犯して、その神聖さを自覚しなくなり、告白しない罪をいただいたまま、神が禁じておられるにもかかわらず、神の臨在の象徴にあえて触れようとした。神は、部分的服従や神の戒めをあいまいに取り扱うことをお受け入れにならない。神は、ウザを罰することによって、神の要求に厳密な注意を払う重要性を、全イスラエルに印象づけようとした。こうして、ひとりの人間の死によって、人々が悔い改めるようになり、幾千の人々を罰する必要がないようにするのであった。」

あけぼのげ400,401

「ダビデと彼の民とは、聖なる働きをするために集まり、心から喜んでそれに従事したのであった。しかし、それが主の指示に従って行なわれていなかったために、主はその奉仕を受け入れることがおできにならなかった。ペリシテ人は、神の律法を知らなかったから、箱をイスラエルに返すときに車に載せた。そして、主は、彼らの努力をお受け入れになった。しかし、イスラエル人は、彼らの手中に、これらすべてのことに関する神のみむね

を明らかにしるしたものを持っていた。そして、これらの指示をなおざりにすることは、神のみ栄えを汚すことであった。

人類のあけぼの下401

「神の譴責は、ダビデに対して効果を現わした。
彼は、これまでになかったほどに、神の
律法の神聖さと厳密に服従する必要とを自覚し
た。」

歴代志上 15:11 ダビデは祭司ザドクとアビヤタル、およびレビびとウリエル、アサヤ、ヨエル、シマヤ、エリエル、アミナダブを召し、

15:12 彼らに言った、「あなたがたはレビびとの氏族の長である。あなたがたとあなたがたの兄弟はともに身を清め、イスラエルの神、主の箱をわたしがそのために備えた所にかき上りなさい。

15:13 さきにこれをかいた者があなたがたでなかったの
で、われわれの神、主はわれわれを撃たれました。これ
はわれわれがその定めにしたがってそれを扱わなかつ
たからです」。

15:14 そこで祭司たちとレビびとたちはイスラエルの神、
主の箱をかき上げるために身を清め、

15:15 レビびとたちはモーセが主の言葉にしたがって命
じたように、神の箱をさおをもって肩にになった。

人類のあけぼの下401,402

「彼は、三か月後にもう一度箱を移動させようと考えた。そして、今度は、主の指示に厳密に従おうと真剣に注意するのであった。ふたたび、国家のおもだった人々が召集され、大群衆がガテ人の家のまわりに集まった。箱はうやうやしく、神の命を受けた人々の肩に載せられた。群衆は、その後に従った。大行列は、震えおののきながら、ふたたび動き出した。六歩進むと、ラツパが鳴って大行列は止まった。

ダビデの命によって、「牛と肥えた物」が犠牲としてささげられた(サムエル下6:13)。こうして、恐れとおののきが喜びに代わった。王は、王衣を脱いで、祭司が着るような亜麻布のエポデを身につけた。この行為によって、彼は、祭司の勤めをしようと思ったのではなかった。エポデは、時には、祭司以外の人も着ていた。しかし、彼は、この聖なる式典において、神の前に彼の国民と平等の立場をとりたかったのである。その日、あがめられるのは、主であった。ただ主だけが尊崇の対象とならなければならなかった。

人類のあけぼの下401,402

ミニストオブヒーリング416

「神がどんなかたであるかを知り、また自分自身が神の前にいかなる者であるかを知れば知るほど、わたしたちはその前に恐れおののくであろう。神が神聖であると宣言されたものに対して、僭越にも無遠慮にふるまった古代の人々の運命から現代人は警告を受けとらねばならない。ペリシテの国から契約のはこが帰ってきたとき、イスラエル人が近づいてあげようとして、その不信心な大胆さをきびしく罰せられた。またウザにくだった罰を考えてみなさい。ダビデの治世に契約のはこがエルサレムに運ばれて行くときに、ウザははこが揺れないように手をかけたが、神の臨在の象徴に対して手をかけた僭越さのために直ちに撃ち殺されたのである。」

大争闘下79

「原因のあるところには、必ずその結果が伴う。義務であると知りながらも、それが自分の好みに合わないからと言って、故意にその信念をもみ消すものは、ついに、真理と誤りの区別をする能力を失ってしまう。理解力はにぶり、良心は無感覚になり、心はかたくなになり、魂は神から離れてしまう。神からの真理のメッセージが、拒絶または軽視されるときに、教会は暗黒に覆われる。信仰と愛は冷え、離反と分離が起こる。教会員は、世俗の追求に興味と精力を集中し、罪人は心をかたくなにして悔い改めないのである。」

希望中243

「神は人々が不信を捨てるように強制されない。彼らの前には光と闇、真理と誤謬がある。どちらを受け入れるかを決定するのは彼ら自身である。人間の心には善と悪とを区別する能力がさずけられている。神は、人々が衝動的に決定しないで、聖句と聖句をくらべ、重要な証拠によって決定するように計画しておられる。」

イザヤ 1:25-27

わたしはまた、わが手をあなたに向け、あなたのかす
を灰汁で溶かすように溶かし去り、
あなたの混ざり物をすべて取り除く。こうして、あなた
のさばきびとをもとのとおりに、
あなたの議官を初めのおりに回復する。その後あなた
は正義の都、忠信の町となえら
れる」。シオンは公平をもってあがなわれ、そのうちの
悔い改める者は、正義をもってあ
がなわれる。